

拒絶理由通知書



特許出願の番号 平成11年 特許願 第308762号
起案日 平成16年 6月11日
特許庁審査官 門 良成 2907 2P00
特許出願人代理人 木村 勝彦 様
適用条文 第29条第2項、第36条

Food 5405
USO/ 出願

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

理由1

この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

請求項8において、「前記リブが前記容器本体の幅方向の両側に位置する」という記載があるが、「容器本体の幅方向」の記載がどの方向を指すのか不明瞭である。

よって、請求項8及び請求項8を引用する請求項12に係る発明は明確でない。

理由2

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項1乃至13

引用文献 1 及び 2

備考:

引用文献 1 には、本体容器が仕切り板により 3 つの部屋に分割されること、フォーム室にはインクを吸収するのに適した弾性材料からなる多孔質体が収容され、各フォーム室の下端には記録ヘッドのインク供給針と係合するインク供給口が設けられ、また容器本体の開口はフォーム室に対向する位置にそれぞれ排気用の通孔とインク注入用の通孔を備えた蓋体で封止されていること、蓋体の裏面のフォーム室に位置する領域には、通孔を取り囲むように突起が形成されていて、これら突起により多孔質体がインク供給口の形成されている底面に押圧されていること、突起の内、インク供給口に対向する方の突起をインク供給口から離れた方の突起よりも下方側に位置するように長く形成して、インク供給口近傍を最も高い圧力で圧縮するようにすること、及び、各フォーム室の底部には、多孔質体を蓋体と協同して圧縮するための凸部が形成されていることが記載されている（【0010】～【0016】）。

また、引用文献 2 には、多孔質体と蓋体との間にプレートを配置することが記載されている（図 1）。

そして、引用文献 1 記載の発明において、引用文献 2 記載の発明を適用し、蓋体と突起を別体構成とすることは当業者が容易に想到し得ることである。その際、突起の形状をどのようなものにするかは、当業者が必要に応じて適宜設計し得る事項にすぎない。

請求項 1 4

引用文献 1 乃至 3

備考:

引用文献 3 には、インク容器にはメモリ等の、インク容器に関する情報を格納する情報格納装置が含まれることが記載されている（【0017】）。

そして、引用文献 1 乃至 3 を組み合わせることは、当業者が容易に想到し得ることである。

その他の点については、上記請求項 1 乃至 1 3 についての記載を参照のこと。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平 8－1 3 2 6 3 6 号公報
2. 特開平 1 0－1 6 6 6 0 6 号公報
3. 特開平 1 1－2 9 1 5 1 8 号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C 第 7 版 B 4 1 J 2 / 1 7 5

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関する問い合わせ、または面接の希望がありましたら下記まで連絡して下さい。

特許審査第一部 印刷・プリンター 門良成

TEL. 03(3581)1101 内線3261